

# 日本脳神経看護研究学会誌論文投稿規程

## 1. 投稿者の資格

- 1) 投稿者（著者）は、共著者を含め本学会の会員に限る。ただし、編集委員会が依頼したものはこの限りではない。

## 2. 対象とする原稿

- 1) 投稿原稿は他誌および関連する他の学会等で未発表であること。
- 2) 脳神経看護領域に関連するものであること。
- 3) 原稿の種類は以下の区分があり、投稿者は原稿にそのいずれかを明記する。
  - ① 原著：研究論文のうち、独創性が高く、科学的な研究としての意義が認められ、研究論文としての形態が整っているもの
  - ② 総説：ある特定のテーマに関して、1つまたはそれ以上の学問分野における知見を広く概観し、そのテーマについて総合的に概説したもの
  - ③ 研究報告：研究論文のうち、内容・論文形式において原著論文には及ばないが、研究としての意義があり発表の価値が認められるもの
  - ④ 実践報告：研究論文のうち、内容・論文形式において原著論文には及ばないが、臨床における実践報告としての意義があり発表の価値が認められるもの
  - ⑤ 資料：看護実践・教育の向上・発展に寄与し、発表の価値が認められるもの

## 3. 倫理的配慮

- 1) 著者は、本研究が倫理的配慮のもとに実施されたものであることを本文中に明記する。
- 2) 倫理的配慮とは、主に以下のこととする。
  - ① 対象者への研究参加の説明と同意の手続きが適切に行われている
  - ② 対象者が心身の負担・苦痛や不利益を受けない配慮がされている
  - ③ 個人データが守秘され、プライバシーが保護されている
  - ④ 研究者としてのモラルに反していない

## 4. 原稿の送付方法

- 1) 投稿原稿はメールに添付して送付する。添付の内容は下記の通り。送付先は後述。
  - ① 原稿の本文（表紙＋本文）
  - ② 図表
  - ③ 要旨（原著の場合は日本語と英語）
  - ④ 原著の場合はネイティブチェックの証明書（PDF）
- 2) メール の 件 名 は 「 日 本 脳 神 経 看 護 研 究 学 会 誌 原 稿 投 稿 」 と す る 。
- 3) メール の 本 文 に は 下 記 を 含 む こ と 。

  - ① 希望する論文の種類
  - ② 表題（和文・英文）
  - ③ キーワード（論文内容を表す重要な語句。和文・英文）3～5 句
  - ④ 筆頭著者の氏名（日本語・英語）と会員番号、共著者の氏名と会員番号
  - ⑤ 所属施設・機関名（著者の所属が異なる場合には氏名の右肩に 1, 2, 3, の様に番号を付け、対応する著者の所属を氏名につけた番号順に記載する。和文・英文）
  - ⑥ 連絡先（メールアドレス、電話番号、FAX 番号、郵便番号、住所）
  - ⑦ 添付した図表、写真の枚数
  - ⑧ 別刷希望部数

## 5. 原稿の受付および採否

- 1) 原稿の投稿は随時受け付ける。
- 2) 原稿が編集委員会に送付され、編集委員会が受理通知を送付した日を受付日とする。
- 3) 原稿は理由の如何を問わず返却しない。
- 4) 原稿の採否は1論文につき複数名の査読者による査読を経て、編集委員会において決定する。
- 5) 編集委員会の判定により、原稿の修正および論文の種類の変更を著者に勧めることがある。
- 6) 投稿原稿の採否は、査読者の意見を元に、編集委員会が決定する。

## 6. 原稿執筆の要領

- 1) 原稿の本文は原則として MS-Word で作成する。
- 2) 原稿は A4 版横書きで、1 枚につき 35 文字×28 行(1000 文字)とし、適切な行間をあける。
- 3) 提出する原稿には 1 ページ目は表紙とする。表紙には上記 4-3)のうち①論文種類、②表題、③キーワードを明記すること。
- 4) 原稿の枚数は、要旨・図表・写真・文献などを含み、1 論文につき以下の通りとする。
  - ① 図表・写真は 1 点で 300 字と見なす

② 原則として、これを超える枚数の論文は受理しない（以下は表紙を含まない本文の枚数）

- ・ 原著：15 枚（12000 文字）
- ・ 総説：15 枚（12000 文字）
- ・ 研究報告：10 枚（8000 文字）
- ・ 実践報告：10 枚（8000 文字）
- ・ 資料：10 枚（8000 文字）

- 5) 外国語は片仮名で、外国人名や日本語が定着していない学術用語などは原則として活字体の原綴りで表記する。
- 6) 図表・写真は原則として掲載大（印刷時の実物大）で作成し、白黒印刷で判別できる明確なものとする。
- 7) 図表・写真は、それぞれ図 1、表 1、写真 1 などの番号やタイトルをつけ、本文とは別に一括して本文の最後に添付する。本文の右欄外に挿入希望位置を指定する。
- 8) 原稿には、400～600 文字程度の和文要旨をつける。原著を希望する場合には、300 語程度の英文要旨もつける。英文要旨は表題、著者名、所属、英文要旨の順に記載する。また、英文要旨は、ネイティブチェックを受け、ネイティブチェックを行った証明書を PDF として添付する。
- 9) 文献は、本文の引用箇所の順に 1)、1,2)、1-4) など番号で示し、本文最後に一括して引用番号順に記載する。文献の著者が 3 名までは全員、4 名以上の場合には最初の 3 名を記し、それ以上は他または et al. とする。雑誌などの略名は医学中央雑誌に、英文誌は INDEX MEDICUS に従って記載する。

10) 文献は下記の形式で記載する。

・ 雑誌の場合……著者名：表題，雑誌名，巻（号），頁，発行年(西暦).

[記載例]

- 1) 田村綾子：遷延性意識障害患者に対する意識回復支援についてのエビデンス，Brain Nursing, 20(11), 31～36, 2004.
- 2) Anzo M, Ashizawa K, Asami T, et al: Standard RUS skeletal maturation of Tokyo Children: Ann Hum Biol, 23(2), 475-480, 1996.

・ 単行本の場合……著者名：書名，版数，頁，出版社，発行地，発行年（西暦）.

[記載例]

- 1) 日本脳神経看護研究学会編：プリセプター必携脳神経外科新人ナース指導育成マニュアル，40-45，メディカ出版，大阪，2005.
- 2) Tanner JM: Growth at adolescence, 2nd edition, 56, Blackwell Scientific Publications, Oxford, 2005.

#### 7. 掲載決定後の原稿提出

- 1) 投稿者は、データを送付用フォルダに格納し圧縮フォルダ（ZIP ファイル）として編集委員会に提出する。
- 2) フォルダに含むデータは、表紙、要旨、本文、図・表・写真とし、それぞれのデータには著者名と内容を示すファイル名とすること。  
例) 百田武司\_表紙 など

#### 8. 著者校正

- 1) 著作校正を 1 回行う。ただし、校正の際の加筆は認めない。

#### 9. 学会誌への掲載時期

- 1) 採用が決定した投稿論文を掲載する学会誌の号・巻は、査読や修正に要した期間を考慮した上で、可能な範囲で発行時期の早い号・巻になるよう編集委員会において決定する。

#### 10. 著作権

- 1) 本学会誌に掲載された論文の著作権は本学会に帰属する。掲載後に他誌等に掲載する場合は、本学会の承認が必要である。
- 2) 著者ならびに共著者は、最終原稿提出時に編集委員会より提示される「著作権譲渡同意書」に自筆書名し、PDF に変換して編集委員会あてに送付する。

#### 11. 著者が負担すべき費用

- 1) ネイティブチェックを受ける際の費用(必要時)
- 2) 別刷料：別刷はすべて実費を著者負担とする
- 3) その他：図表・写真など、印刷上特別な費用を必要とした場合は著者負担とする

#### 附則

- 1) この規程は平成 21 年 3 月 6 日より施行する。
- 2) この規程は平成 22 年 10 月 1 日 一部改正実施する。
- 3) この規程は令和 2 年 11 月 15 日一部改正実施する。

送付先ならびに問い合わせ先

日本脳神経看護研究学会 編集委員会

E-mail jann.editer@gmail.com